

事務事業 No./名称	■サービス部門 経企-08 広聴事業 □支援部門						
主管課	秘書広報課	関連課					
分野名	市民の参画、協働の推進						
目標 (目標値)	市政に対する意見・要望などを聴き、市政に反映させるため、広聴活動の充実を図る。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	170	146	188			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	170	146	188			
	人員配置数	1.5	1.5	1.5			
	人件費(千円)	12,171	12,799	12,916			
事務事業運営経費	協働のパートナー	市政モニター等市民自治町内会連合会	市政モニター等市民自治町内会連合会	市政モニター等市民自治町内会連合会			
	総事業費(千円)	12,341	12,945	13,104			
	市民1人当りの経費(円)	70	73	73			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	大和市	相模原市	市川市	千葉市	富士市	郡山市
	e-モニター数	2169	200	6,100	3,605	100	259
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
	市政e-モニターの登録人数	目標値	—	500	500	500	500
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	○	実績値	—	186	202	244	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
広聴事業	170千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 △	⇒ ■A □B □C □D □E	ふれあい地域懇談会(自治町内会長等)、市長カフェ(市民活動団体)、青少年トーク(新成人・学生)・ふらっとミーティング(一般市民)における市民と市長の懇談会の実施。電子メールを活用した市政e-モニターへのアンケート等の実施。	
	事業の概要	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 △	⇒ □A □B □C □D □E		
事業の概要	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 △	⇒ □A □B □C □D □E			
事業の概要	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 △	⇒ □A □B □C □D □E			
事業の概要	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 △	⇒ □A □B □C □D □E			
事業の概要	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 △	⇒ □A □B □C □D □E			

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般市民や若年層を対象とした広聴活動を拡充していく。</li> <li>市政e-モニター登録者数の増加を図るとともに、庁内での認知度、アンケートの活用度を高めていく。</li> </ul>		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰でも参加できる意見交換会「ふらっとミーティング」を、市役所と市立小学校を会場に、全17回実施した。</li> <li>「青少年トーク」の一環として、高校生との懇談を企画し、鎌倉女学院生徒会の生徒との懇談会を実施した。</li> <li>イベント等でe-モニター募集のチラシを配布し、本庁舎ロビーのモニター広告にも募集を掲示した。</li> </ul>	取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市政e-モニター登録者数は伸びているが、目標値にはまだ遠く、庁内における認知度と活用度もまだ十分とは言えない。</li> </ul>		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	②妥当性 ○	③有効性 ○		④公平性 △	↓
				A	秘書広報課長 奈須 菊夫

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
広聴事業	主な個別事業	455 臨時的任用職員賃金(テープ反訳事務)	60	52	○	○	○	○
		455 保育ボランティア謝礼	44	2	○	○	○	○
		455 広聴事業用事務用品費	24	24	○	○	○	○
		455 ふれあい地域懇談会贈い	35	26	○	○	○	○
		455 ふらっとミーティングリーフレット作成	44	44	○	○	○	○
		455 マイク・アンプ修繕料	10	7	○	○	○	○
		455 ふれあい地域懇談会会場使用料	15	15	△	△	△	△
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							